

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134021099	家庭科教育法A Teaching Method(home-making)A	栗田 舞			2	選択	2前期

科目の概要

DP 4に記載している衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付け、地域再生に貢献することができ、DP 2・3・5・6にあるように自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる家庭科教員の育成を目指します。そのために、この科目では、高等学校における家庭科教員に必要な知識と具体的な指導方法を身につけます。また家庭科の教科としての概要と指導内容、そして様々な指導法を修得します。家庭科の様々な分野の教材研究を行ない、学習指導案を作成し、模擬授業を行います。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領「家庭」および専門教科「家庭」の概要を知る。 ② 教員として、生徒に何をどのように教えたいか、何を修得させたいかを考える。 ③ 学習指導案を作成し、家庭科の授業を創り上げる。	① 学習指導要領「家庭」および専門教科「家庭」の内容が説明できる。 ② 教育問題に対し関心をもち、教材研究や学習指導案を作成するのに役立てることができる。 ③ 家庭科の授業を成立させ、授業を行なうことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分で課題を設定し、その解決のために自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実践の場面に備え、学校現場で通用する言動を修得する。
考え抜く力	課題発見力	自分自身の課題のみならず、家庭科の教材における教育目標を見極める力を身につける。
	計画力	
	創造力	生徒の多様性に配慮し、様々な視点や立場で考えることができる。
チームで働く力	発信力	考察した学習指導案に基づき、分かりやすく伝える努力をすることができる。
	傾聴力	他者からの発案や他者の考えをきちんと聞き、自分自身の視野を広げることができる。
	柔軟性	他者の意見や学校における生徒との対応のなかで、共感をもって受け入れる姿勢を身につける。
	状況把握力	
	規律性	他者の気持ちになって考え、行動することができる。
	ストレスコントロール力	教員として学校で働くときの、様々な場面を想定し対処法を考えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：「実践的指導力をつける家庭科教育法」・多々納道子、伊藤圭子・(株)大学教育出版・2,200円＋税
「家庭基礎 自立・共生・創造」・東京書籍
参考文献：「高等学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省

他科目との関連、資格との関連

「家庭科教育法A」は専門科目の教職に関する科目の一部である。その後に履修する「家庭科教育法B」「家庭科教育法C」「家庭科教育法D」の基盤となる科目である。
資格との関連：中学校教諭一種（家庭）、高等学校教諭一種（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
・理想とする教師像をもっていること。 ・履修者全員で高め合う授業なので、積極的に参加すること。	・日常生活のなかで常に問題意識をもつこと。 ・教員となったときに生徒に何を伝えたいか、何を修得させたいかを明確にもつことができるようになることを期待する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	40	①	✓			・グループ発表によるレポート ・個人発表による学習指導案 において評価する。 知識の獲得（教授内容・指導法）：40％ 知識の活用（教授内容・指導法を実践にむけて創意工夫する）：30％ 知識の解決（実践においての問題点について、改善内容を明確にする）：30％
				②	✓			
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓			・グループ発表、個人発表において單元ごとの重要な項目について、説明をすることができる。 ・レポートや学習指導案を、所定の書式に沿って作成することができる。 ・模擬授業を行なうことができる。 知識の獲得（教授内容・指導法）：40％ 知識の活用（教授内容・指導法を実践にむけて創意工夫する）：30％ 知識の解決（実践においての問題点について、改善内容を明確にする）：30％
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）自己分析ができる。 （実行力）教員として活躍できるよう、実践力を身につける。 （課題発見力）日常生活のなかで、問題意識を持つことができる。 （創造力）様々なシチュエーションのなかで、その対処法やその先のことを考えることができる。 （発信力）手段を工夫し伝えよう、分かってもらおうと努力することができる。 （傾聴力）素直に他者に耳を傾け、自分の視野を広めることができる。 （柔軟性）臨機応変に対応することができる。 （規律性）遅刻、欠席、学習意欲の欠如がみられる場合は減点する。 また質問に対する回答、発言が積極的な場合は加点する。 成果発表をした学生のみ評価の対象とする。 （ストレスコントロール力）職業としての教員について、その現状と様々な事柄についての対処法を理解することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）は、レポートや学習指導案に工夫がみられ、成果発表の方法に工夫がある。全体を通して講義に積極的に参加する。 A（優）は、レポートや学習指導案が所定の書式に沿っている。成果発表の内容が分かりやすい。	レポートや学習指導案を提出し、成果発表を行なう。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	普通教科「家庭科」・ 専門教科「家庭科」の 概要と展開	講義・質疑応答 ディスカッション google meet	普通教科「家庭科」・ 専門教科「家庭科」の 概要を理解する	(予習) 今までの学校 や教師との関わりをま とめる (復習) 自分自身の経 験と合わせて、振り返 る	180	傾聴力 規律性
2	学習形態・教授法・学 習指導案の形態	講義・質疑応答 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	学習形態・教授法・学 習指導案の形態を理解 する	(予習) どのような教 授法を経験してきたか をまとめる (復習) 様々な教授法 について考察する	180	傾聴力 規律性
3	家族分野における教材 研究と学習指導案の書 き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加 し、内容を理解する	(予習) 家族分野にお ける教材研究 (復習) 家族分野での 授業案を検討する	180	主体性 課題発 見力
4	高齢者・保育分野にお ける教材研究と学習指 導案の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加 し、内容を理解する	(予習) 高齢者・保育 分野における教材研究 (復習) 高齢者・保育 分野での授業案を検討 する	180	主体性 課題発 見力
5	食生活分野における教 材研究と学習指導案の 書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加 し、内容を理解する	(予習) 食生活分野に おける教材研究 (復習) 食生活分野で の授業案を検討する	180	主体性 課題発 見力
6	衣生活分野における教 材研究と学習指導案の 書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加 し、内容を理解する	(予習) 衣生活分野に おける教材研究 (復習) 衣生活分野で の授業案を検討する	180	主体性 課題発 見力
7	住生活分野における教 材研究と学習指導案の 書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加 し、内容を理解する	(予習) 住生活分野に おける教材研究 (復習) 住生活分野で の授業案を検討する	180	主体性 課題発 見力
8	消費生活分野における 教材研究と学習指導案 の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加 し、内容を理解する	(予習) 消費生活分野 における教材研究 (復習) 消費生活分野 での授業案を検討する	180	主体性 課題発 見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	家族分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 家族分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	実行力 発信力
10	高齢者・保育分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 高齢者・保育分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	実行力 発信力
11	食生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 食生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	実行力 発信力
12	衣生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 衣生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	創造力 柔軟性
13	住生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 住生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	創造力 柔軟性
14	消費生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 消費生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	創造力 柔軟性
15	教育実習の心得 家庭科の評価 まとめと総括	オンデマンド・質疑応答 ディスカッション google meet	教育実習の心得、家庭科の評価を理解する	(予習) 教育実習で学ぶべき視点、家庭科の評価について考察する (復習) 教育実習で学ぶべき視点、家庭科の評価についてまとめる	180	ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134022100	家庭科教育法B Teaching Methods for Home Economics B	原田 悦子			2	選択	2後期

科目の概要

人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成するために、高等学校家庭科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。なお、本科目はディプロマポリシーDP3にある、「ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付けて、地域再生に貢献することができる」科目として位置付けられる。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領の目標や内容を理解する ② 家庭科教育の特性を踏まえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をする ③ 基本的な指導技術を身に付け、模擬授業を行う	① 学習指導要領共通教科「家庭」及び専門教科「家庭」の目標や内容を説明することができる ② 家庭科教育の特性を踏まえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をすることができる ③ 基本的な指導技術を身に付け、模擬授業を行うことができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。
	傾聴力	グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

＜テキスト＞
 「高等学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省
 「Survive!! 高等学校 家庭基礎」教育図書
 ＜参考文献＞
 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校編）』国立教育政策研究所教育課程研究センター

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「家庭科教育法B」は教職に関する科目に配置されており、「家庭科教育法A」で獲得した知識・技術を活用する。
 資格との関連：中学校教諭一種（家庭）、高等学校教諭一種（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
・学習指導要領共通教科「家庭」及び専門教科「家庭」の目標や内容をきちんと予習した状態で授業に臨みましょう。 ・教科書「Survive!! 高等学校 家庭基礎」の内容をきちんと予習した状態で授業に臨みましょう。 ・社会で起きている事象（人、もの、こと）について、旬の情報を知り、教材に生かそうとする姿勢をもちましょう。 ・家庭科教育に関する書籍やテキストを読みましょう。	・遅刻は20分以内とする。 ・模擬授業で必要なものは全て各自で準備すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	60	①	✓			・模擬授業に向けて作成した学習指導案を評価します。 ・模擬授業後に受けた指導内容をもとに修正した学習指導案を評価します。 ・他者の模擬授業へのコメントを評価します。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①				作成した学習指導案をもとに、模擬授業を行ってもらいます。模擬授業の評価ポイントは講義時に伝えます。
				②				
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	20	①	✓			（主体性）到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力）課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）整理した内容を的確な文章で表現できる。 （傾聴力）グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性）遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを最大限活用し、自分の言葉で十分に詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って大変円滑に模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを具体的に記述することができる。 A：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを最大限活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って円滑に模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを具体的に記述することができる。	B：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントがある程度活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを記述することができる。 C：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを活用し、自分の言葉で詳述することができる。そして、自身が作成した学習指導案に沿って模擬授業を行うことができる。また、他者の模擬授業をみて、適切なコメントを記述することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイダンス 令和の日本型学校教育	講義 グループワーク	令和の日本型学校教育 について理解することが できる	〈予習〉自分の受けてき た学校教育をふりか えってくる 〈復習〉令和の日本型学 校教育についてポイント を整理する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	学習指導要領の改定の ポイントと評価方法	講義	高等学校家庭科の目標 や内容、単位数、指導 上の留意点が説明でき る 家庭科の評価方法、と くに技能の習得に関し て理解できる	〈予習〉高等学校学習指導要領 共通教科及び専門教科「家 庭」を読む 「指導と評価の一体 化」とは何かを考えてくる 〈復習〉高等学校学習指導要領 共通教科及び専門教科「家 庭」のポイ ントを整 理する 家庭科の評価方法に 関するポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	教科書を読み解く	講義 グループワーク	教科書の構成や内容を 把握することができる	〈予習〉指定の教科書を読 む 〈復習〉教科書の内容と 学習指導を確認する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学習指導案の構成・書 き方	講義	学習指導案の構成を理 解することができる	〈予習〉学習指導案の書 き方を調べる 〈復習〉学習指導案の書 き方のポイントを整理 する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	学習指導案の作成	オンデマンド	高校家庭基礎の学習指 導案を作成することが できる	〈予習〉模擬授業で行 う学習内容を決める 〈復習〉作成した学習 指導案を見直す	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	学習指導案の検討	講義 グループワーク	より良い授業を展開す るために学習指導案を 改善することができる	〈予習〉学習指導案を作 成する 〈復習〉模擬授業にむけ て、学習指導案を修正 する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	模擬授業のシミュレー ション（板書計画、教 材・教具の準備）	講義 グループワーク	模擬授業のシミュレー ションを行い、板書計 画を立てることができ る 自身の模擬授業に沿っ た教材・教具を検討す ることができる	〈予習〉模擬授業用の板 書計画を立てる 〈復習〉模擬授業に向け て、教材・教具を作成 する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	模擬授業（1）：導入	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を 実施することができる 模擬授業を振り返り、 改善に向けた手立てを 考えることができる他 者の授業に適切なコメ ントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備 をする 〈復習〉振り返りで指摘 された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	模擬授業 (2) : 板書計画	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを 考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	模擬授業 (3) : 教材・教具	模擬授業 グループワーク	模計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを 考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	模擬授業 (4) : デジタル教科書	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを 考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	模擬授業 (5) : ICT情報機器の活用	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを 考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉模擬授業の準備をする 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	模擬授業 (6) : まとめ	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを 考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉学習指導案を作成する 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	模擬授業 (7) : 問い返し	模擬授業 グループワーク	計画通りに模擬授業を実施することができる 模擬授業を振り返り、改善に向けた手立てを 考えることができる 他者の授業に適切なコメントをすることができる	〈予習〉学習指導案を作成する 〈復習〉振り返りで指摘された内容を中心に、 学習指導案を改善する	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	振り返りとまとめ	講義 グループワーク	模擬授業を通して学んだ、教材研究や授業をより良くするために必要なポイントを整理することができる	〈予習〉これまでの授業資料を振り返る 〈復習〉自身が作成した学習指導案を更に加筆・修正する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力